

マルチメディア対応型 web 広報システム

代表者 曾原 寿允 (工学研究科信頼性システム工学専攻1年)

1. 目的と概要

昨年、私たちは「学生の学生による Web 広報システム」と題して電子掲示板システムを作成しました。このシステムは、学生がインターネット上から画像を投稿することが可能で、サークルや行事の告知を行うことができるようになっています。現在幸町キャンパス、工学部キャンパス、農学部キャンパスの3カ所に大型モニターを設置しています。



図1. Web 広報システムの設置例 幸町食堂

昨年作成したシステムの対応メディアは画像形式のみとなっており、学生の興味を多く惹きつけているとは言いづらい現状でした。そこで、香川大学の学生にもっと楽しく便利に利用してもらえるように、この電子掲示板システムを改良し動画形式のメディアにも対応させることを考えました。

2. 実施期間(実施日)

平成21年7月1日 から 平成22年3月31日まで

平成21年

- 5月～ マルチメディア対応型 Web 広報システムの立案
- 7月～ マルチメディア対応型 Web 広報システムの仕様決定

- 10月～ 動画配信用サーバー、クライアントアプリケーション作成
平成22年
- 1月～ マルチメディア対応型 Web 広報システムリリース

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業「マルチメディア対応型 web 広報システム」（以降本システム）は、昨年プロジェクト成果に機能を追加する形で実現しました。成果物として以下の3点が挙げられます。

1. 動画の投稿を行うアプリケーション
2. 動画の配信を行うアプリケーション
3. 動画の閲覧を行うアプリケーション

動画の投稿を行うアプリケーションでは、利用者が動画形式のファイルをインターネットのウェブページ上から投稿を行うことができます。投稿された動画は、動画配信用の形式に最適化され、動画配信用のアプリケーションにより、インターネットを通して配信されます。最終的に利用者は、動画閲覧用のアプリケーションを通して動画を閲覧することができます。

また、動画の作成には専用のソフトウェアが必要あり、編集のための知識が必要となるため、本システムの構築を行っても動画が投稿されないのではないかという懸念がありました。この問題を解決するため、私たちは本プロジェクトと平行して、香川大学で活動している先生や学生にインタビューを行い、動画を作成し、本システムで動画の投稿を行いました。



図2. 動画を再生している大型モニターの様子

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本システムは、香川大学の学生に向けた情報であれば、誰でも自由に投稿することができます。本システムを活用することにより、香川大学の学生によるサークル活動や催し物だけでなく、学内での情報の共有、地域のお店や、行事などの告知を行うことができるようになりました。

また、平行して行っているインタビュー動画により、香川大学ではどのような先生や

学生が在籍し活動を行っているのか、香川大学の学生だけでなく、香川大学に興味のある高校生や地域の方への情報発信が行えるようになりました。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本プロジェクトを通して、複数人でプロジェクトを進めていく難しさと、システムが完成した時の達成感・喜びを感じることができました。今回のプロジェクトでは動画を扱うということで開発する技術要素が多かったため、システム開発を行うにあたって多くのことを学ぶことができました。また、どのようにしたら本システムを広く使ってもらえるようになるのか、利用者にとって使いやすい便利なシステムはどのような物がよいのか、メンバーで話し合うことを通して、システムを構築するという技術的な面だけでなく、利用者の立場に立ったサービスを提案することが重要だということがわかり、大変有意義な経験をすることができました。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

今後は、本システムの運営・管理を継続し、機能の拡充をおこなっていきます。動画作成には大変な労力がかかることもあり、動画で告知物を作成したいけれども、パソコンの操作に不慣れな方のために、Web 上から写真やテキストをアップロードしてそれを組み合わせて動画を作成するサービスのリリースを予定しています。

7. 実施メンバー

代表者 曾原 寿允（工学研究科 1 年）

構成員 林 雅也（工学部 4 年）

近藤 秀和（工学部 4 年）

鈴木 貴文（工学研究科 1 年）

加島 巧（経済学部 2 年）